

目標 4 子育ての喜び・楽しさを得られるまちをつくる

施策（12）子育てを応援する体制づくり ～笑顔あふれる子育て環境～

1 現状・課題及び方向性

<現状・課題>

- 「子育てを楽しい」と感じる保護者の割合はほぼ9割となっています。一方、子育てに関する悩みや不安を感じる保護者の割合は、5割を超えています。（※）

多くの人が子育てに苦勞しながらも、子どもと暮らす日々の生活に喜びを感じていることが伺えます。悩みや不安があっても、それを解消してくれる「支え」となるものがあれば、子育ては楽しく魅力あるものになると考えられます。

- 問題なのは、子育てを支えてくれる人・相談できる人が「いない」と回答した保護者が、一定割合存在し、孤立化が心配されることです。

不安や悩みを抱えながらも、いきいきと子育てすることができるよう、各種相談窓口の充実が必要です。

また、地域での人のつながりなど、家族や友人のように顔の見える関係で、気軽に心を開いて相談できる人・場所がどこにでもあるような環境をつくっていくことや、必要なサービスに確実にアクセスできるよう、様々な媒体を活用した広報に努めることも必要です。

- 本市には、現在、多くの外国人が生活しており、その人数は年々増加傾向にあります。今後、外国人労働者の受け入れ増加に伴い、言葉や文化の違いから、子育てに不安や悩みを持つ家庭が増えることも想定されます。

<方向性>

- 親子が気軽に集い交流する場の提供や、地域で活動する育児サークルへの支援などを通じて、地域社会全体で子育てを支える取り組みを進めていきます。

- 多様化する相談内容に対応するため、相談員の専門性・スキル向上のための研修の充実を図ります。また、子育てサポーターの育成や、シルバー人材センターなどシニア世代の参画をさらに活性化させ、地域の支援体制を強化しつつ、こうした人材の活躍の場を拡げていきます。

- 子育ての悩みや不安の解消につながる情報を、いつでもどこでも手軽に入手できるよう、最新の情報技術の活用も検討しながら、保護者の生活様式に合わせた情報発信について、その提供する内容も含め、工夫を凝らしていきます。

- 外国人の子どもやその家庭にも同様の支援が確実に届けられるよう、配慮を行っていきます。

※子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査（平成30年度）

2 施策の柱

①	<u>地域における子育て支援の環境づくり</u> 身近な地域における子育てを支えるネットワークづくりなど、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進める。
②	<u>子育てを支える人材の育成・活用</u> 子育てサポーターやシニア世代の参画を活性化させるなど、子育てを支える地域の人材の確保に努める。
③	<u>子育て家庭への経済的支援</u> 子育て家庭の状況に応じて、必要な経済的支援を適切に行う。
④	<u>市民が利用しやすい相談体制</u> 子育てに悩みや不安を持つ保護者が、分かりやすく利用しやすい相談体制を整備する。
⑤	<u>子育てに関する情報が届く仕組みづくり、PRの強化</u> 子育て中の人を知りたい情報をタイムリーに手軽に入手できるよう、情報誌やホームページなどを活用した情報提供を行う。
⑥	<u>外国人市民の子ども・保護者への支援</u> 外国人市民の子どもやその家庭が安心して暮らしていけるよう、子育てに関する知識や情報の正しい理解を促進するための支援等を行う。

3 成果指標

子育ての悩みや不安を感じる人の割合	【減少】
子育てが楽しいと感じる人の割合	【増加】
子育てを支えてくれる人がいる人の割合	【増加】
子育てに関して相談できる人（場所）がいる（ある）人の割合	【増加】
子育てサポーター登録者数	【増加】
子育て情報を提供するホームページの認知度	【増加】

4 施策を推進する主な取り組み

柱① 地域における子育て支援の環境づくり

No	取り組み名 担当課	概要
144	地域でつくる子育て応援事業 子ども家庭局・子育て支援課	区の保健・医療・福祉・地域連携推進協議会やまちづくり協議会等と連携し、子育てに関するボランティア活動や地域特性を生かした子育て支援活動等を支援する。
145	親子ふれあいルームの充実 子ども家庭局・子育て支援課	子育て中の親と子が気軽に集い、相互に交流を図る場である親子ふれあいルームを運営し、施設の充実及び子育て相談、子育て関連情報の提供などの機能の充実を図る。また、市民センターをはじめ、子育て支援団体、育児サークル等と連携し、ネットワーク化を図るなど、地域における子育て支援に取り組む。
146	赤ちゃんの駅登録事業 子ども家庭局・総務企画課	官民が協力して、乳幼児を持つ保護者が外出した際、授乳やおむつ替えができる施設を、「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを行う。
147	育児サークル・フリースペース活動への支援 子ども家庭局・子育て支援課	乳幼児の親同士が交流を通じて、自主的な活動を行えるよう育児サークルを支援する。また、自由に参加・利用できるフリースペースの活動を支援するとともに、地域で子育てをしやすいシステムづくり、仲間づくりを支援する。
38 再掲	一時保育事業 子ども家庭局・保育課	保護者のパート就労や冠婚葬祭、育児リフレッシュ等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育所において保育する。

柱② 子育てを支える人材の育成・活用

No	取り組み名 担当課	概要
148	子育てサポーターの育成 市民文化スポーツ局・生涯学習課	<p>子育てサポーター養成講座を実施し、市民センターを拠点として活動する「子育てサポーター」を養成する。</p> <p>養成された子育てサポーターは、子育てに関する保護者の悩みや不安の軽減を図るため、市民センターにおける「育児サークル」や「フリースペース」等での活動を支援する。</p> <p>また、子育てサポーターフォローアップ研修、子育てサポーターリーダー養成研修を行う。</p> <p>さらに、サポーター間の交流を深め、意見交換や情報交換を通して相互の連携・協力を図るため、交流会を実施する。</p>
149	主任児童委員による子育て支援 子ども家庭局・子育て支援課	<p>住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行う「児童委員（民生委員）」の中から選任された、児童福祉に関する事項を専門的に担当する「主任児童委員」が、区役所や子ども総合センター、学校、教育委員会等の関係機関、区域を担当する児童委員等と連携し、子育て支援に関する様々な活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校や児童委員と連携し、見守りが必要な家庭への訪問 ○支援が必要な子どもや家庭と関係機関との橋渡し ○生後4か月までの乳児家庭全戸訪問の協力など
150	ほっと子育てふれあい事業 子ども家庭局・子育て支援課	<p>ほっと子育てふれあいセンターにおいて、地域で子育ての援助を行いたい人と子育ての援助を受けたい人とで、ボランティア組織をつくり、会員同士で子どもの預かりや送迎など子育てサービスを行う。</p>
151 ⑧	シニア世代による子ども・子育て支援活動の促進 子ども家庭局・総務企画課	<p>シニア世代が、これまで培った経験・人脈等を活かし、子どもや子育てを支える人材として十分活躍してもらえるよう、市の子育て関連施設や子育て支援事業などの中から、活躍が可能な場を集約し情報提供するとともに、子ども・子育て支援活動への積極的な参画を呼びかけていく。</p>

152	シルバー人材センターによる高齢者活用子育て支援事業 産業経済局・雇用政策課	子育て経験の豊富なシルバー人材センターの会員が、子育て家庭を支援するため、シルバー人材センターの業務の一つとして、子守、保育所の送迎、保育補助、産前産後の手伝い等を実施する。
153	経済界との連携による学校支援事業 教育委員会・指導第二課	経済界との連携により、企業がもつ人材や経営のノウハウなどを生かし、出前授業や体験活動などに取り組む。 ○P T A活動活性化の支援 ○企業従業員の親学支援 など
154	子育て支援員の養成・配置 子ども家庭局・保育課	北九州市社会福祉研修所で「子育て支援員養成研修」を実施する。専門性を活かし、きめ細かな子育て相談等に対応できるよう、保育士を「子育て支援員」として養成し、子育て相談や育児サークルの支援等、地域に根ざす保育所として、子育て家庭支援の中心的役割を担う。

柱③ 子育て家庭への経済的支援

No	取り組み名 担当課	概要
155	児童手当 子ども家庭局・子育て支援課	次代の社会を担う子どもの育ちを支援することを目的に、児童手当を支給する。なお、3歳以上小学校修了前の第3子以降には、加算して手当を支給する。
133 再掲	児童扶養手当 子ども家庭局・子育て支援課	父または母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、当該児童について児童扶養手当を支給することにより、もって児童の福祉の増進を図る。
156 ⑧	幼児教育の無償化 子ども家庭局・幼稚園・こども園課、保育課	幼児教育にかかる費用を社会全体で負担することにより、子どもたちに質の高い幼児教育を受ける機会を保障する。 幼児教育の無償化を円滑に実施する。
157	母子公費負担医療費助成 子ども家庭局・子育て支援課	小児慢性特定疾病や未熟児・心身障害児等の重症化を抑制するとともに、保護者の医療費負担の軽減などを図るため、医療費の公費負担等を行う。 また、小児慢性特定疾病について、専門員による自立支援を行う。

158	子ども医療費支給事業 子ども家庭局・子育て支援課	子育てに関する経済的負担を軽減し子どもの健康の保持と健やかな育成を図るため、保険診療による医療費の自己負担額を助成する。
132 再掲	ひとり親家庭等医療費支給事業 子ども家庭局・子育て支援課	母子家庭の母及び児童または父子家庭の父及び児童、父母のない児童の健康の向上と福祉の増進を図るため、保険診療による医療費の自己負担額を助成する。
159	児童生徒・学生に対する就学の機会均等を図るための経済的支援 教育委員会・学事課	経済的理由によって就学困難な児童生徒や学生に対して、学用品費等の支給や修学資金の貸付を行う。
53 再掲	放課後児童クラブ利用者支援事業 子ども家庭局・子育て支援課	生活保護世帯等について放課後児童クラブの利用料を助成し、放課後児童クラブの利用を支援する。

柱④ 市民が利用しやすい相談体制

No	取り組み名 担当課	概要
160	子ども・家庭相談コーナー運営事業 子ども家庭局・子育て支援課	区役所の子ども・家庭相談コーナーにおいて、子どもと家庭に関するあらゆる相談にワンストップで応じ、各種支援制度を適用したり、関係機関等へつなぐ等それぞれの相談内容に応じた支援を行う。支援にあたっては、関係機関等から情報を収集するとともに緊密に連携し、包括的・継続的な支援を調整、実施する。 ※ 児童福祉法に基づき「子ども家庭総合支援拠点」の設置に努める。
108 再掲	子ども総合センターの運営 子ども家庭局・子ども総合センター	児童福祉法に基づく児童福祉の専門的行政機関として、子どもに関する相談の受付、助言や指導、心理判定、障害の判定、一時保護など児童相談所業務を行う。また、児童虐待、非行、不登校などのさまざまな課題、悩みを抱える子どもや保護者を支援するため、カウンセリングやケースワーク、関係機関との調整・連携等に取り組む。

111 再掲	「24時間子ども相談ホットライン」事業 子ども家庭局・子ども総合センター	いじめ、不登校等子どもの不安や悩み、保護者の子育てに関する悩みへの対応や、児童虐待の緊急対応などを行うため、24時間体制で電話相談を受け付ける。
161	子育て支援総合コーディネーター事業 子ども家庭局・保育課	「子育て支援サロン“ぴあちえーれ”」に子育て支援総合コーディネーターを配置し、面接、電話やメールによる子育てに関する相談の対応を行い、必要な関係機関との連携、調整等の支援を行う。また、育児講座を開催するなど、子育て支援の充実を図る。

柱⑤ 子育てに関する情報が届く仕組みづくり、PRの強化

No	取り組み名 担当課	概要
162 ⑧	子育てに関する情報発信の充実・強化 子ども家庭局・総務企画課	子育て中の方が、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるように、ホームページやフェイスブック、情報誌の内容や、情報提供方法の充実を図り、必要とされる子育てに関する情報が、市民に届くように取り組む。 併せて、効果的な情報発信のあり方について、検討する。
163	市政だより、市政テレビ、ホームページ、SNS等による子育てに関する情報提供 広報室・広報課	市政だより、市政テレビ、ホームページ、SNS等を活用し、より多くの市民に効果的に子育てに関する情報を提供する。
164 ⑧	市内外に向けた「子育てしやすい街北九州」のPR 子ども家庭局・総務企画課	他部局とも連携しながら、WEB広告やタウン誌、イベント等さまざまな媒体・場を活用し、市内外に向け、「子育てしやすい街北九州」をPRする。

165	幼稚園・保育所等 情報の積極的な提供 子ども家庭局・総務企画課、保 育課、幼稚園・こども園課	市民に愛され親しまれる幼稚園、保育所等となる ため、また、市民が幼稚園、保育所等を選択する際の 一助となるよう、ホームページの充実や、ガイドブッ クの作成などにより、積極的に施設の情報提供に取り 組む。 さらに、タイムリーな情報提供を充実させるため、 幼稚園、保育所等に通う子どもや保護者向けの情報 を、施設を通して提供する。
166	保育サービスコン シェルジュ事業 子ども家庭局・保育課	保育を希望する保護者等の相談に応じ、個別のニ ーズを把握したうえで、認可保育所のほか、一時保育 や幼稚園預かり保育などの多様なサービスについて の情報提供を行うため、各区役所及びウーマンワー クカフェ北九州に「保育サービスコンシェルジュ」を 配置する。
167	保育サービスに関 する情報提供の充 実 子ども家庭局・保育課	市ホームページにて、さまざまな保育サービスや 各保育所の概況および各月の入所児童数等を公開す ることで、保育所入所希望者への情報提供の充実を 図る。
139 ⑥ 再掲	ひとり親家庭施策 の周知 子ども家庭局・子育て支援課	ひとり親家庭が利用できる制度や施設をまとめた 「ひとり親家庭のガイドブック（携帯版）」を作成し、 配布する。また、養育費確保を促進するため、早い段 階で必要な情報を提供できるよう、離婚届の受取り 時等の機会に、必要な各種支援制度等の周知を強化 する。 また、市ホームページ「子育てマップ北九州」や、 情報誌「北九州市こそだて情報」に掲載する等、さま ざまな方法でひとり親家庭に関する事業を周知す る。

柱⑥ 外国人市民の子ども・保護者への支援

No	取り組み名 担当課	概要
168	日本語と子育て教 室 企画調整局・国際政策課	外国人市民の子育ての悩みなどの負担軽減を図る ため、外国人市民を対象とした日本語教室を子育て 支援施設で開催し、日本語学習支援や生活情報の提 供を行う。

169	<p>外国人市民の妊産婦や保護者への支援</p> <p>子ども家庭局・子育て支援課 企画調整局・国際政策課</p>	<p>母子健康手帳交付の際に、多言語化した「母子健康手帳や妊産婦手帳の使い方」や、「早わかり子育て便利帳」のリーフレットを配布する。また、妊娠中から出産後まで必要に応じて、保健師が家庭訪問等を行い、継続した支援を行う。</p> <p>学校や幼稚園等との日本語によるコミュニケーションが難しい場合は、(公財)北九州国際交流協会による行政通訳派遣の活用を図る。</p> <p>また、保護者に配布する書類については、やさしい日本語を使うなど配慮する。</p>
170	<p>外国人児童生徒の受入体制の整備</p> <p>教育委員会・指導第一課</p>	<p>教育委員会や帰国・外国人児童生徒教育センター校による北九州市帰国・外国人児童生徒教育推進協議会を中心に、帰国・外国人児童生徒の受け入れ体制を整備する。また、帰国・外国人児童生徒教育連絡協議会(対象は日本語指導対象児童生徒の学級担任)を実施し、帰国・外国人児童生徒の受け入れについて周知・徹底を図るとともに、教員の意識の高揚と資質の向上に努める。</p>
171	<p>外国人児童生徒への学習支援体制の充実</p> <p>教育委員会・指導第一課</p>	<p>日本語指導員および帰国・外国人児童生徒教育センター校に配置されている専任教員が、各小中学校などを訪問して、帰国・外国人児童生徒へ個別に行う初期の日本語指導を充実させる。また、帰国・外国人児童生徒教育センター校においても専任教員を中心にして、日本語指導などの学習支援体制の充実を図る。</p> <p>さらに、(公財)北九州国際交流協会が実施するにほんごひろば事業を通じて、児童の学習支援体制の充実を図る。</p>

(参考データ)

○ 子育てに関する悩みや不安を感じるか

区分		非常に感じる	やや感じる	あまり感じない	全く感じない	わからない	無回答
就学前 回答者数 H25:1,453人 H30:1,559人	平成25年度	5.1%	39.6%	38.4%	8.0%	7.3%	1.7%
	平成30年度	6.0%	45.2%	36.5%	8.9%	1.5%	1.9%
小学生 回答者数 H25:1,373人 H30:1,493人	平成25年度	7.6%	44.1%	33.9%	6.7%	6.6%	1.1%
	平成30年度	8.0%	48.6%	35.0%	6.2%	9.0%	1.4%
中高生 回答者数 H25:1,086人 H30:1,396人	平成25年度	14.5%	54.6%	23.2%	5.0%	1.0%	2.7%
	平成30年度	17.4%	47.5%	24.4%	3.9%	7.0%	6.1%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

○ 保護者が子育てに関して悩んでいること、気になること（抜粋）

区分	内容		平成25年度	平成30年度
就学前 回答者数 H30:1,559人 H25:1,453人	1位	子どもを叱りすぎているような気がする	42.5%	40.3%
	2位	食事や栄養に関する	40.4%	34.4%
	3位	病気や発育・発達に関する	33.5%	31.2%
小学生 回答者数 H30:1,493人 H25:1,373人	1位	子どもの教育に関する	37.1%	39.6%
	2位	子どもを叱りすぎているような気がする	38.5%	37.5%
	3位	子どものテレビやメディアとの接し方の	18.3%	32.7%
中学・高校生 回答者数 H30:1,396人 H25:750人	1位	卒業後の進路に関する	70.1%	59.7%
	2位	子どもの学業（成績等）に関する	62.4%	50.7%
	3位	将来の子どもの就職に関する	58.5%	49.7%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

注：順位は、平成30年度調査に基づく

注：複数回答

○ 子育てをしていて楽しいと感じる人の割合

区分	非常に感じる	やや感じる	あまり感じない	全く感じない	わからない	無回答
就学前 回答者数 1,559人	57.3%	38.0%	2.6%	0.1%	1.3%	0.7%
小学生 回答者数 1,493人	48.5%	45.3%	3.9%	0.4%	1.1%	0.8%
中学・高校生 回答者数 1,396人	42.0%	47.3%	5.9%	0.5%	2.7%	1.7%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査（平成30年度）

○ 子育てを支えてくれる人がいる人の割合

区分	いる／ある	いない／ない	無回答
就学前 回答者数 1,559人	96.3%	1.5%	2.1%
小学生 回答者数 1,493人	96.6%	2.4%	1.0%
中高生 回答者数 1,396人	94.1%	3.2%	2.7%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査（平成30年度）

○ 子育てが地域の人に支えられていると感じている割合

区分		非常に感じる	やや感じる	あまり感じない	全く感じない	H25:どちらとも言えない H30:わからない	無回答
就学前 回答者数 H25:1,453人 H30:1,559人	平成25年度	11.5%	32.8%	13.9%	11.3%	29.9%	0.6%
	平成30年度	10.1%	37.8%	19.0%	21.9%	9.0%	2.2%
小学生 回答者数 H25:1,373人 H30:1,493人	平成25年度	20.9%	39.0%	8.8%	7.3%	22.1%	2.0%
	平成30年度	17.3%	46.6%	14.3%	15.3%	5.2%	1.3%
中高生 回答者数 H25:1,086人 H30:1,396人	平成25年度	16.1%	34.0%	9.6%	9.8%	27.9%	2.7%
	平成30年度	12.5%	43.1%	16.5%	19.8%	5.1%	3.2%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

○ 子育てについて相談できる人（場所）がいるか（あるか）

区分		いる／ある	いない／ない	無回答
就学前 回答者数 H25:2,106人 H30:1,559人	平成25年度	94.9%	2.4%	2.7%
	平成30年度	96.8%	2.1%	1.1%
小学生 回答者数 H25:1,373人 H30:1,493人	平成25年度	92.4%	6.9%	0.7%
	平成30年度	96.9%	2.6%	5.0%
中高生 回答者数 H30:1,396人	平成25年度	—	—	—
	平成30年度	92.0%	4.1%	3.9%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

○ 子育てに関する悩みや不安の相談先（抜粋）

区分		配偶者・パートナー	その他の親族（親、きょうだいなど）	友人や知人	職場の人	学校等の保護者の仲間	幼稚園・保育所、学校の先生等
就学前 回答者数 H25:1,999人 H30:1,509人	平成25年度	—	84.1%	75.3%	—	—	42.5%
	平成30年度	83.6%	84.6%	72.4%	32.4%	18.3%	46.1%
小学生 回答者数 H25:1,269人 H30:1,446人	平成25年度	77.5%	73.4%	71.4%	28.0%	30.5%	25.5%
	平成30年度	78.3%	77.7%	72.8%	36.3%	35.4%	29.8%
中高生 回答者数 H25:1,086人 H30:1,284人	平成25年度	70.5%	51.7%	47.1%	27.4%	28.3%	2.7%
	平成30年度	77.3%	66.9%	67.1%	34.2%	30.5%	25.0%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

注：複数回答

○ 保護者がより力を入れてほしい子育て支援策のうち、施策（12）関連（抜粋）

区分	内容	平成25年度	平成30年度
就学前 回答者数 H30:1,559人 H25:1,453人	1位 安心して子育てと仕事を両立できる職場環境	58.5%	57.8%
	2位 子育てに関する公的な経済的支援	63.6%	56.8%
	3位 子育て家庭が利用しやすい、公園や子育て支援施設等	52.2%	55.4%
小学生 回答者数 H30:1,493人 H25:1,373人	1位 いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設	62.4%	59.5%
	2位 救急医療をはじめとする子どもの医療体制	46.4%	50.9%
	3位 学校以外での学習支援	—	34.5%
中学・高校生 回答者数 H30:1,396人 H25:1,086人	1位 救急医療をはじめとする子どもの医療体制	41.4%	46.9%
	2位 子育てに関する公的な経済的支援	48.1%	41.8%
	3位 いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設	41.6%	38.4%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

注：順位は、平成30年度調査に基づく

注：複数回答

○ 子育てに関する情報の入手方法（抜粋）

区分	内容	平成25年度	平成30年度
就学前 回答者数 H30:1,559人 H25:1,453人	1位 親族や友人、知人など	80.6%	82.2%
	2位 保育所、幼稚園、認定こども園など	61.9%	66.4%
	3位 インターネットサイト（平成25年度：パソコン）	22.5%	49.6%
	参考 H25:3位 市政だよりなどの市の発行物	34.3%	23.3%
小学生 回答者数 H30:1,493人 H25:1,373人	1位 親族や友人、知人など	81.4%	81.2%
	2位 学校	63.5%	67.7%
	3位 インターネットサイト（平成25年度：パソコン）	19.0%	40.3%
	参考 H25:3位 市政だよりなどの市の発行物	37.7%	30.1%
中学・高校生 回答者数 H30:1,396人 H25:1,086人	1位 親族や友人、知人など	74.9%	79.4%
	2位 学校	60.9%	59.0%
	3位 インターネットサイト（平成25年度：パソコン）	21.2%	31.4%
	参考 H25:3位 テレビ、ラジオ	28.5%	27.5%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

注：順位は、平成30年度調査に基づく

注：複数回答

○ 保護者がより力を入れてほしい情報発信の手段（抜粋）

区分	内容	平成25年度	平成30年度
就学前 回答者数 H30:1,559人 H25:1,453人	1位 保育所、幼稚園、認定こども園など	56.0%	52.8%
	2位 インターネットサイト（平成25年度：スマートフォン）	25.1%	24.7%
	3位 市政だよりなどの市の発行物	36.3%	23.3%
小学生 回答者数 H30:1,493人 H25:1,373人	1位 学校など	77.1%	68.5%
	2位 市政だよりなどの市の発行物	34.9%	30.1%
	3位 インターネットサイト（平成25年度：スマートフォン）	15.2%	24.3%
中学・高校生 回答者数 H30:1,396人 H25:1,086人	1位 学校など	72.0%	65.0%
	2位 市政だよりなどの市の発行物	36.3%	27.8%
	3位 インターネットサイト（平成25年度：パソコン）	14.3%	23.7%

資料：北九州市 子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査

注：順位は、平成30年度調査に基づく

注：複数回答

○ 北九州市の外国人住民の現状（国籍別）

